



ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 265

2018年

11～12月号

行 事 案 内

11月手賀沼探鳥会

期 日 11月11日(日) 雨天中止
 集 合 我孫子市役所 午前9時
 案 内 秋も深まり、手賀沼にカモたちが戻り賑わってきています。11月は例年40種以上の鳥たちとの出会いがあります。常連さん以外に、今年はどうな仲間との出会いができるか期待しましょう。オオジュリン、ミサゴなども姿を見せてくれるはずです。冬鳥たちとの再会を楽しみましょう。

解 散 正午
 担 当 松本

12月手賀沼探鳥会

期 日 12月9日(日) 雨天中止
 集 合 我孫子市役所 午前9時
 案 内 一年の締めくくり定例手賀沼探鳥会です。水鳥が勢ぞろいし、沼面も賑やかでしょう。猛禽のハヤブサ、ミサゴが空に舞い、葦原では姿は見えない小鳥のさえずりが聞こえるでしょう。最も多くの鳥を観察出来る季節です。皆さまのご参加をお待ちしています。

解 散 正午
 担 当 坂元、佐和橋

11月、12月ビオトープ調査

期 日 11月1日(木) 雨天延期
 12月6日(木) 雨天延期
 集 合 手賀沼ビオトープ 午前9時30分
 案 内 昨年11月は留鳥の他にアオジ、クロハラアジサシ、コガモ、セグロカモメが見られ計21種、12月は留鳥の他にアカハラ、シロハラ、ツグミ、アリスイ、オオジュリン、オナガガモ、カンムリカイツブリ、タヒバリ、ミサゴ、ユリカモメが見られ計29種観察できました。11月は蝶、トンボが飛び、昆虫が叢に見られますが、12月にはほとんど見られなくなります。草木の花はほとんどなくなり、草木の実が多くみられるようになります。ビオトープ周辺の風景、動植物を観察しながら、探鳥をしてみましょう。

初めて参加希望の方は下記までご連絡の上、当日は五本松公園の駐車場に9時までにお越しください。

解 散 午前11時30分
 担 当 鈴木静治
 Tel : 080-3121-4757

11月、12月手賀沼定点カウント

期 日 11月2日(金) 雨天延期
12月4日(火) 雨天延期
集 合 我孫子市役所 午前9時
解 散 正午予定
担 当 金子雅幸、船津登、桑森亮
連絡先 桑森亮
Tel : 04-7182-3149

ジャパンバードフェスティバル (JBF2018)

期 日 11月3日(土) 9:30~16:00
4日(日) 9:30~15:00
会 場 手賀沼親水広場、水の館、オオバン
広場(多目的広場駐車場)、アビス
タ周辺、その他
案 内 会場は昨年とほぼ同じで、光学機器
関係は親水広場、学生・NPO 団体
はオオバン広場、講演・作品展はア
ビスタ、水の館などの予定です。当
会の出展は、オオバン広場のテント、
カップ噴水前展望デッキの湖畔バ
ードウォッチングのテント、手賀沼
漁協棧橋付近の船上バードウォッ
チングテントの3か所になります。
広 報 JBF 全体のイベントについては、
広報あびこの10月、11月号または
我孫子市ホームページをご覧下さ
い。

<当会の出展内容等>

- ① 「パネル展示」(オオバン広場テント)
当会の活動状況や手賀沼の水鳥の現
状、会員が撮影した野鳥の写真等をパネ
ルにして紹介します。具体的テーマは
「我孫子野鳥を守る会の活動と手賀沼
の水鳥の現状」とし、展示内容を検討中
です。
- ② 「野鳥の塗り絵とパタパタ工作」(オオ
バン広場テント)
野鳥の塗り絵とパタパタ工作を親子
で楽しんでもらいます。
- ③ 「庭に鳥を呼ぶ」(オオバン広場テント)
野鳥の好きな草木の実や餌を実物で

紹介します。

- ④ 「湖畔バードウォッチング」(カップ噴
水前展望デッキとテント)
湖畔の展望デッキからスコープを使
用して手賀沼の鳥を見て、楽しんでもら
います。
- ⑤ 「船上バードウォッチング」(手賀沼漁
協棧橋付近のテント)
遊覧船で手賀沼を一周し、船上から手
賀沼の鳥と風景を楽しんでもらいます。
受付や乗船券販売等は水の館 3F で実行
委員会事務局が担当し、当会は船内での
探鳥ガイドを担当します。
- ⑥ その他

海外から数か国のブース展示も行わ
れ、当会はこれまで親交を深めている台
湾とモンゴルをサポートします。

<前日会場設営と当日参加のお願い>

- ① 当会出展の設営は、前日 11月2日(金)
の13時30分からオオバン広場の当会テ
ントにご参集下さい。その後、各担当の
出展場所へ移動し、設営作業を行います。
- ② 11月3日(土)9時00分~16時 各出展
場所へ
11月4日(日)9時00分~15時 各出展
場所へ

*会員の皆様の積極的なご参加とご協力をお
待ちしています。

伊豆沼・蕪栗沼探鳥会

期 日 11月25日(日)~26日(月)
集 合 8時30分上野駅集合(上野発8時
54分、やまびこ43号乗車予定)
交 通 新幹線及びレンタカー
宿 舎 伊豆沼ウェットランド交流館
(TEL: 0228-33-2831)
参加費 33,000円程度(JR新幹線、レンタ
カー等の交通費、宿泊費等)
定 員 16名(レンタカー4台分)
JR チケット早割購入のため、早め
に申込み下さい。
案 内 マガン、ヒシクイなどガンカモ類を
求めてラムサール条約登録湿地で

ある宮城県の伊豆沼・蕪栗沼に出向きます。夕日をバックにした数万羽のマガンの埒入り、ひらひらと舞い降りる落雁、早朝の一斉に飛び立つ様を目前にすると、誰しも自然の雄大さに感動を覚えると思います。鳥見をはじめたら一度は体験したい探鳥ではないでしょうか。マガンに混じったシジュウカラガンやカリガネを探してみるもの楽しみです。また、湿地周辺では猛禽類や冬の小鳥たちも大いに期待できます。

(2015年の同探鳥会で観察された鳥：オオヒシクイ、マガン、ハクガン、シジュウカラガン、コハクチョウ、オオハクチョウ、各種カモ類、猛禽類など50種)

持 物 観察用具、雨具、防寒具(*)、寝間着、洗面用具、常備薬等
*夕暮れ時、日の出前に戸外で観察するため、相当冷えますので防寒対策を十分にして下さい。

申 込 桑森亮まで

Tel/Fax : 04-7182-3149

担 当 鈴木、桑森

親子ふれあい探鳥会 (手賀沼流域フォーラム参加企画)

期 日 12月1日(土) 雨天中止
集 合 手賀の丘公園どんぐりの家前
午前9時15分
解 散 正午頃
案 内 一般市民を対象にして当会会員が山野と水辺の鳥を案内し、子供達に探鳥の楽しみを伝える親子探鳥会です。
参加者全員に「カラー写真入り野鳥チェックリスト」を進呈。
更に野鳥ビンゴゲームで特製野鳥カードや野鳥ぬり絵セットをゲットできます。
コースは手賀の丘公園～手賀沼南岸～手賀の丘公園です。
※会員の皆様もお子さんやお孫さん

を誘ってぜひご参加ください!

<東武バス案内> 柏駅東口 1 番乗り場
布瀬ゆき 8:25 発手賀農協前下車 徒歩約 10 分 (9:00 過ぎに公園到着予定)

参加費 無料

定 員 40 名 (小学生以下は保護者同伴)

申 込 野口隆也まで

Tel : 04-7163-7898

担 当 間野、船津、古出、桑森、相良、千葉、坂元、小林(美)、野口(隆)

統一クリーンデイ・ふれあい清掃

手賀沼ふれあい清掃・美手連統一クリーンデイに参加して野鳥の生息環境を改善しましょう!

期 日 12月2日(日)

雨天の場合 12月9日(日)に延期
雨天時の確認は当日7時30分以降テレドーム(0180-991173)でご確認下さい。

集 合 手賀沼公園多目的広場 8時45分
(参加の事前申し込みは不要です)

行事予定 8:45~9:00 受付
9:00~9:15 開会式
9:15~10:30 清掃
10:30~11:00 閉会式

その後、参加記念品の配布、ジャンケン大会のほか、豚汁の振る舞いがあります。

清掃コース 手賀沼公園～根戸新田(沼側歩道下)

持 参 軍手(ゴミ袋は不要です)

服 装 汚れても良い服装

連絡先 野倉

Tel : 04-7149-5078

芋煮会

年末の恒例行事として実施して来た芋煮会ですが、昨年、実施時期を年末の繁忙期を

避け、気候の良い11月に繰り上げたところ
皮肉にも雨天中止になってしまいました。今
年は年末に戻し、リベンジ開催です。是非多
くの方々に参加して頂き盛大な芋煮会を楽
しみましょう。奉行役としてもご参加下さい。
(奉行役へは事前申告お願いします)

皆様からの申込を心よりお待ちしております。

尚、今年は、併行の探鳥会はありません。

期 日 12月16日(日) 雨天中止

会 場 五本松公園 ふれあいキャンプ場

アクセス ①鳥の博物館前から徒歩20分

(我孫子駅南口より10時発天王台
行きで鳥博前下車)

*鳥博前に停車するバスは、10時
台はこの1本のみです。

②成田線湖北駅南口からのバス・
外回りに乗り湖北6丁目で下
車し、ふれあい道路を西へ徒歩
5分。

③午前11時より開始の為、10分
前には来場願います。

参加費 大人1,500円、小・中学生500円、
幼児無料

持 参 汁椀や箸・プレートなど持参される
と、他者と区別が付いて便利です。
酒類などの持ち込みは大歓迎です。

申 込 桑森亮まで

Tel/Fax : 04-7182-3149

*各奉行の皆様は10時までに集合願います。

尚、奉行役の方は改めての申込は不要です。

*定例探鳥会の折にも、申込を承ります。

*当日は、ドライバーの方は飲酒厳禁です。

*締 切 12月9日(日)まで

菅生沼・利根運河探鳥会

期 日 12月23日(日) 雨天中止

集 合 我孫子駅北口ロータリー午前7時

交 通 自家用車分乗です。

案 内 久し振りに菅生沼を訪ねます。本命
の300羽を超えるといわれるコハ
クチョウや手賀沼では見られなく
なったハシビロガモなどの水鳥も

観察します。

利根運河などでは冬鳥のベニマシ
コ、アトリに加えカケス、カワセミ
なども期待できます。

費 用 同乗者は1人1,500円を運転者
にお渡し下さい。

参加者は下見代とし1人200円を
担当幹事にお渡し下さい。

持 物 観察用具、弁当、飲物、雨具、防寒
具

申 込 野口隆也まで(車を提供できる方は
その旨お知らせ下さい)

Tel : 04-7163-7898

担 当 石渡、落合、野口(隆)

11月役員会案内

日 時 11月11日(日) 13:15~16:00

場 所 水の館3F 研修室

議 題 ①2019年度上期行事計画

②会報266号掲載予定記事

③第2四半期会計報告

④芋煮会の実施準備

⑤報告事項

・市民のチカラまつり2018
出展結果

・JBF2018出展結果

⑥その他

(議題のある場合は桑森まで
ご連絡ください)

江戸崎・和田岬・甘田探鳥会

期 日 平成31年1月6日(日) 雨天中止

集 合 我孫子駅北口 午前8時

案 内 来年の新春探鳥会は、長年親しんだ
小見川・神之池をやめて、江戸崎で
オオヒシクイを観察した後は霞ヶ
浦南岸を探鳥し、その後昨年コミミ
ズク・ハイイロチュウヒが復活して
いた甘田干拓地を訪れます。自然相
手ですので、あたりはずれがあるか
も知れませんが、みなさんの鳥運に期
待します。

交通 自家用車分乗、便乗者は一人 1,500
円を運転者にお渡しください。申込
の際、自家用車を提供可能な方はそ
の旨ご連絡ください。
持物 観察用具、雨具、防寒具、昼食（途

中購入可能)
申込 松田幸保まで
Tel/Fax : 04-7182-8307
担当 関口、松田

行事報告

8月手賀沼探鳥会

日時 2018.8.12 8:00～11:10
曇り 微風 28℃

雲の多い天気、昨日までの暑さはなく、
過ごしやすい日でした。最初の探鳥地ヒドリ
橋では、水面に水鳥の姿は、ほとんどなく、
葦原の木で、モズ、ホオジロが見られました。
下沼のお立ち台では、電柱に止るトビ、フィ
ッシングセンターの沼側の木で休むゴイサ
ギの群が見られました。浅間橋上流側の手賀
川では、コブハクチョウ、オオバン、カイツ
ブリの親子の姿が見られました。ヨシゴイは、
飛んで来て葦原に入りますが、葦に止る姿は
見られませんでした。オオヨシキリは、水辺
近くを飛びました。真夏で鳥の少ない時期で
すが、26種の鳥が認められ、参加者数を上
回ったことは良かったです。

<認めた鳥> コブハクチョウ、カルガモ、
カイツブリ、キジバト、カワウ、ヨシゴイ、
ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、
オオバン、トビ、カワセミ、モズ、ハシボソ
ガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツ
バメ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、セッカ、ム
クドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、
ホオジロ 計 26種 番外 カワラバト

<参加者> 関口英治、小池忠彦、間野吉幸、
小林博之、西城猛、千葉洋、嶋崎省、石渡成
紀、マイケル・ノートン、相馬唐代子、肥後
邦彦、佐和橋みどり、野倉元雄、相良直己、
松本勝英、高波宣子、桑森亮（担当）船津
登 計 18名

8月手賀沼定点カウント

調査日時 2018.8.10 9:00～11:45
快晴 30℃～34℃

台風 13号が去り再び真夏日となり、少な
い日陰を歩きながらのカウント。恒温動物の
鳥は体温が 40～42度と言われるが、この暑
さは流石にこたえるのかサギなども開口呼
吸している。そしてこの暑さの為なのか、
カウントできた鳥数も前年の 8割弱と少な
かった。

救いは、4か月ぶりのハヤブサと何年かぶ
りのクマゼミが確認できたこと。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	3	15	18
カルガモ	4	2	6
カイツブリ	7	3	10
カワウ	58	19	77
アオサギ	1	0	1
ダイサギ	4	1	5
チュウサギ	1	5	6
オオバン	2	0	2
合計	80	45	125

<調査者> 桑森亮、船津登、金子雅幸、嶋崎
省 計 4名

8月手賀沼ビオトープ調査

調査日時 2018.8.2 8:30～10:10
晴れ 弱風 29～32℃

厳しい暑さの中、ホオジロの囀り、蝉の声、
ウシガエルの鳴き声を聞きながら探鳥をす

る。稲穂の伸びた田んぼの畦にカルガモ、稲穂にスズメが止まり、その上をコサギが飛ぶ。ビオトープの池にはカルガモ、カイツブリ、コブハクチョウの親子が泳ぎ、葦原中をオオヨシキリが動き、岸の桜の頂にアオサギ、ダイサギが止まり、ホオジロが綺麗な声で囀る。林ではシジュウカラの家族、ハシボソガラス、ヒヨドリが動く。コゲラ、スズメ、ツバメが飛ぶ。沼にはほとんど鳥の姿見えないが、カイツブリの親鳥、幼鳥の鳴き声が聞こえる。観察した野鳥 15 種 39 羽、他に木の花 4 種、実 7 種、野草の花 9 種、花穂 11 種、蛙 1 種、蛇 1 種、蝶 4 種、蛾 1 種、蜻蛉 5 種、蝉 3 種、バッタ 2 種、蜂 1 種、甲虫 1 種、カメムシ 2 種、蜘蛛 1 種を観察しました。

<認めた鳥>コブハクチョウ、カルガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、コゲラ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、スズメ、ホオジロ 計 15 種。

<調査者>鈴木静治、池田日出男、千葉洋、間野吉幸、嶋崎省、古出洋子、古出夏紀 計 7 名

探鳥ルートの手賀沼ふれあい緑道は自転車が多く走るため、事故に遭わないよう安全に注意し、互いに声をかけあうように努めています。この日も安全に探鳥会を終え、皆さんのご協力に感謝します。

<認めた鳥>コブハクチョウ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、イソシギ、トビ、オオタカ、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ショウドウツバメ、ツバメ、ヒヨドリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ 計 26 種 番外 カワラバト

<参加者>渡邊俊文、村瀬和則、関口英治、小池忠彦、千葉洋、常盤孝義、鍋倉妙子、嶋崎省、野倉元雄、船津登、小林博之、菊地幸雄、菊地昌江、村松寿夫、西嶋昭生、西城猛、六角昭男、金子幸子、類地佑子、渋谷武子、斉藤恵美子、野口隆也、高波宣子、佐和橋みどり、松田幸保、間野吉幸、坂元貴子、宮本秀樹、徳重玲子、西川真智子、肥後邦彦、渡辺政一、野口紀子、小林寿美子 (担当) 桑森亮 計 35 名

9 月手賀沼探鳥会

日 時 2018.9.9 8:00~10:45

晴れ 弱風 29℃

暑さも峠を越え、秋風が感じられる中での探鳥会で、鳥が少ない時期でも 35 名と多くの皆さんが集まり、集合場所でコゲラの声聞いてスタートしました。

上沼では久しぶりにミサゴが杭にと色めき立ちましたが、良く見るとトビでした。2 日前のカウント調査では飛び交っていたアジサシを期待していましたが、残念ながら観察できず。沼の水鳥は少ないもののカワセミが姿を見せ、沼から小鳥の鳴き叫ぶような声が出たかと思うとオオタカが小鳥を追って葦原に飛び込む姿が見られました。農地ではモズの高鳴きやサギ類が観察できました。

下沼では鳥が少ないため、手賀川の浅間橋まで足を延ばし、ホシゴイ (ゴイサギ幼鳥) にツバメと渡りのショウドウツバメが飛び交う姿が観察できました。

9 月手賀沼定点カウント

日 時 2018.9.7 9:00~11:40

晴れ やや強い風 29℃

台風で延期した本日も、強い風の中のカウント。半年ぶりに下がった水位も、本来の干潟がナガエツルノゲイトウ繁茂で干潟の役目を果たせず、鳥が休めない状況。

カモの飛来は確認できなかったが、大きな翼で優雅に舞うアジサシの群れで、我々がカウントを担当して 3 年半で初めて遭遇した光景。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	1	8	9
カルガモ	3	19	22
カイツブリ	4	6	10
カワウ	140	22	162
アオサギ	0	2	2
ダイサギ	14	4	18
チュウサギ	1	36	37
コサギ	1	2	3

オハシ	2	0	2
アジサシ	20	0	20
合計	186	99	285

<調査者>桑森亮、船津登、金子雅幸、嶋崎省 計4名

9月手賀沼ビオトープ調査

調査日時 2018.9.6 8:30~10:20
 晴れ 弱風 27°C

一昨日、昨日の台風の影響か鳥、蝶、トンボの数が少ない。それでも観察した野鳥は**16種47羽**。水田では一部刈り取られた稲田でチュウサギが餌を探し、スズメ、ハシブトガラス、ツバメが飛び、セッカが鳴きながら飛ぶ。ビオトープの池ではカルガモが泳ぎ、カイツブリが鳴く。カワセミの声も聞こえる。ダイサギが餌探し。アオサギ、コサギ、ツバメ、ハシブトガラス、モズが飛ぶ。上空高くトビが風に乗って滑空する。森ではシジュウカラが鳴く。沼の水面上をカワウが飛ぶのみ。観察した野鳥は**16種47羽**。他に木の花**3種**、実**5種**、野草の花**20種**、花穂・実**17種**、蛙**2種**、トカゲ**1種**、蝶**8種**、蛾**2種**、トンボ**4種**、蝉**1種**、バッタ**6種**、蜂**3種**、蠅**3種**、甲虫**1種**、カメムシ**6種**、亀**1種**を観察しました。

<認めた鳥>カルガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、トビ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、セッカ、スズメ 計**16種**

<調査者>鈴木静治、間野吉幸、蒲田知子、千葉洋、池田日出男、古出洋子、嶋崎省 計**7名**

三番瀬探鳥会

9月2日

～ミヤコドリにはまりそう！～

久松典子

雨も晴れ、潮が引いた砂浜を歩くのも初めてで心地良いものでした。初めて見る沢山の小さな水鳥たちはどれも

みな同じに見えて困りました。

スコープを持っている方々が次々と見せて下さり、少しはわかるはずなのですが???

三番瀬は日本一のミヤコドリの渡来地だそうです。ミヤコドリだけでも覚えなくちゃ…

ミヤコドリに申し訳ないです。イエイエ、スコープを見せて下さっている方々に申し訳ございません。白黒でくちばしが赤いのですね。そして貝殻を嘴上上手に割って食べる

とか?そんな光景を見たいものです。

そんなミヤコドリにはまりそう!!
 いやいや、スコープを次々と見せて下さったり、野鳥の特徴など色々教えて下さる皆さんにもうハマっています。

【幹事報告】

秋の渡りのシギ・チドリとの出会いを求めて、東京湾の干潟、“三番瀬”に出かけました。昨年に引き続き、三番瀬に最も詳しい、千葉県野鳥の会との交流探鳥会です。

日本一のミヤコドリの渡来地である三番瀬では、毎月第一日曜日に日本野鳥の会東京支部との共催で、千葉県野鳥の会の「三番瀬自然観察会」が行われています。

今回も、3年続けて、当会も合流し、3団体が交流する盛大な探鳥会となりました。

あいにく小雨模様で開催が危ぶまれましたが、当会からも**29名**の会員が参加しました。探鳥開始前に、日本野鳥の会東京支部の田久保さんより、三番瀬の説明や、直近の鳥情報もご紹介いただき、期待に胸を膨らませ、千葉県野鳥の会杉本さん、飯島さんのご案内で探鳥がスタートしました。

この日は、朝**9時頃**が満潮で、午後に向けてだんだん潮が引いていきます。午後**14時半頃**が干潮の予定です。

小潮のため、干満の差は**60cm**くらいです。行楽客や貝掘りをする人がいないため、シギやチドリが目の前の海浜で採餌しています。早速、小雨の中、探鳥を開始しました。下見時と同様、オオソリハシシギが**4羽**波打ち際で採餌しています。トウネン、ミユビシギ、ハマシギ、キアシシギ、ダイゼン、メダイチドリなども見られます。この時期は、早めに飛来した成鳥に続いて今年生まれた幼鳥も飛来し始めています。また、まだ夏羽の個体もいれば、早くも冬羽に変わった個体、今まさに換羽中の個体も見られます。最も、バリ

エーションに富んだ鳥たちを観られる貴重な季節です。

本日も、オバシギの成鳥と幼鳥を間近に見ることができました。ダイゼンやトウネンはまるで他の種のように様々な羽の個体が混在しています。下見時には、冬羽のみであったキョウジョシギは、本日は夏羽のみ7羽の群れが渚で休息しています。様々な年齢のウミネコの群れに混じって、オオセグロカモメ、セグロカモメ、ユリカモメ、コアジサシも見られます。砂浜ではシロチドリも数羽採餌しています。

この日は、早朝よりダイシャクシギ4羽の群れが入っているとのことでした。数十の目で探しましたが、残念ながら飛去してしまっただけで会うことはできませんでした。1時間ほどの探鳥後、日差しが現れ、雨も上がってきました。絶好の探鳥日和となりました。

12時に展望デッキで昼食をとり、12:45より3団体合同で鳥合わせを行い、その後現地解散しました。

多くの会員が、解散後も探鳥を続けました。午前中の探鳥では、堤防上に微かに見えたミヤコドリの群れが、干潮の干潟に飛来してきます。いつもの牡蠣礁に30羽近い群れがやってきました。間近でミヤコドリにまみえることができ大満足でした。雨で心配された中で、大変充実した探鳥会となりました。

今年度も、ご案内、ご指導いただきました千葉県野鳥の会 杉本様、飯島様に感謝申し上げます。

<認めた鳥> キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、ミヤコドリ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、イソシギ、キョウジョシギ、オバシギ、ミュビシギ、トウネン、ハマシギ、ユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、コアジサシ、アジサシ、ミサゴ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、メジロ、セッカ、ムクドリ、スズメ、カワラヒワ、ハクセキレイ 計38種 番外 カワラバト

<参加者> 氏名50音順 敬称略
石渡成紀、岩本二郎、落合聡、菊地幸雄、菊

地昌江、桑森亮、坂元貴子、坂元孝行、嶋崎省、鈴木静治、鈴木裕爾、鈴木幸子、関口英治、相馬唐代子、多葉田五男、常盤孝義、徳重玲子、鍋倉妙子、野尻清隆、野尻恭子、久松典子、弘實和昭、船津登、松崎英一、松崎恭子、間野吉幸、吉田隆行

担当幹事：野口隆也、相良直己

計29名 (報告) 相良直己

我孫子・柏周辺探鳥会

9月30日

本探鳥会は、台風24号の為、「雨天中止」となりました。

25名もの参加申し込みがあり、ギリギリまで幹事3名で協議の結果です。

市民のチカラまつり 2018

9月22、23日

「市民のチカラまつり」は、我孫子市の市民活動団体を中心となり、行政・学校・企業・商店など多様な機関と連携しながら実施する街づくり交流イベントです。

けやきプラザ2Fふれあいホールを中心に入口エントランス広場及びアビシルベなどを会場として、61市民団体が参加、15団体・個人が協力し、活動の紹介、体験型イベント、パフォーマンス、講演会など、様々な市民活動が紹介・発表されました。また、7~9F研修室等では講演会・フォーラムなどが開催されました。

当会では、この市民活動イベントに継続して参加・出展しており、今回は、①当会の活動紹介、手賀沼のカウントデータによる水鳥の総個体数等の推移、野鳥写真のポスター展示、②野鳥の写真をプロジェクター映写し鳥の名前を当てるクイズ「この鳥なーに?」、③昨年作成した野鳥ビンゴの3プログラムを企画し、子供たちを中心に参加型ゲームを通して野鳥に親しんでもらいました。

昨年作成し実施した野鳥ビンゴは、4×4=16の枠目に野鳥カード(表は写真で裏は名前)を裏向きでおき、袋の中のカードを順に取り出して、取り出された種類のカードを

表にしてビンゴをつくるゲームで子供たちに大人気です。ほとんど休む間なく子供たちが訪れ、2日間で200人を超える方々の来場がありました。また、今回バージョンアップした鳥の名前当てクイズには延60人の参加があり、中には初級編ではもの足りず中級・上級編にチャレンジする子供たちもいて、図鑑片手に映像の鳥と種名を確認する熱心な小学生の女の子は当会に入会してくれました。

この機会を通じて、当会への入会勧誘、JBF2018の案内も行い、2日間とも親子連れの来場者で賑わいました。大人の方々の中にはパネル展示に興味を示し、当会活動や手賀沼の水鳥の説明に耳を傾け熱心に質問される方もいて、啓発活動として意義ある活動になったと思います。

2日間にわたり展示等の準備・運営にご協力頂いた会員の皆さんにこの場を借りてお礼申し上げます。

(報告：桑森)

9月役員会報告

日 時 9月9日(日) 13:00~15:30

場 所 水の館3F 研修室

出席者数 21名

議 事

1. 幹事の担当業務一部変更
幹事の担当業務の一部変更について決定しました。
2. 市民のチカラまつり2018への出展
市民のチカラまつりの出展準備を確認するとともに、当日行う「野鳥の名前当てクイズ」のバージョンアップ版の内容をプロジェクターで確認しました。

3. JBF2018への出展

具体的出展計画について、各班責任者(一部代理)が資料に基づき説明し、大綱につき承認、決定しました。また、検討に付帯し次のことを確認、決定しました。

- ・オオバン広場テントのパネル展示での具体的説明は、当会担当が事前に勉強し説明するよう努める。
 - ・展示に関する知識を共有するため、野鳥サロンとして勉強会を開催し、この際にデータの評価等についても議論する。日時等は定例探鳥会にあわせて10月14日(日)、13時30分から水の館7F研修室で開催する。案内は事務局よりab-yachoでメール配信する。
4. ほーほーどり265号掲載予定記事
会報265号の掲載記事について検討し、執筆担当等を決定しました。
 5. 報告事項

- ①ホームページ(HP)運営委員会開催報告(8/30)
 - ・HP担当を吉田から野尻に変更、業務引継
 - ・更なる魅力的なHPの運営、改善
 - ・外部からの攻撃への対応、信頼性の保証化
 - ・データベース、アーカイブス機能の整備
 - ・HP運営委員の公募等
- ②対外活動報告(美手連関係、JBF2018関係等)
 - ・千葉県野鳥の会との共同による手賀沼探鳥会の検討
 - ・世界湖沼会議への研修参加(10/18、於つくば市)
- ③事務局報告事項

以 上

鳥 だ よ り

すっかり稲も刈り取られ、季節は秋へと変わっています。ダイサギ、チュウサギ、アオサギとサギ類がたくさん集まって田圃や水路で餌を漁っていました。一方でアマサギやコサギが少なくなっているのが気になるところです。サギ類が集まってくるとそれを狙って、オオタカが姿を現しています。サシバの旋回する姿もよく見かけるようになっていました。

今年生まれたツバメが大きな群れをつくって、スピード感を増して飛んでいました。南の国に渡る日ももう直ぐのようです。ヒメアマツバメの繁殖が確認されています。成長した若鳥に成鳥が餌を与えていました。

コガモはこの秋初認。スズメやカルガモも大きな群で飛んでいました。カイツブリの子どもも独り立ちしたようです。モズもたくさん現れています。ゴイサギの幼鳥、ホシゴイも見られました。

夏と秋の狭間で、鳥達が入れ替わり始めています。賑やかになって行きますね。

- | | |
|---|---|
| 7.23【大井新田】コトドリ(1)
畑で鳴いたり、私の周りを水平に飛んでいた。
吉田隆行 | 金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省 |
| 7.23【片山（手賀の丘公園）】ヤマガラ(15)
船津登 | 8.10【手賀沼辺】ハブサ(1) 上沼
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省 |
| 7.24【泉村新田】コサギ(1)
電線に止る
船津登 | 8.15【北新田】クサギ(1) 越流堤傍
佐藤さなえ・松田幸保・畠中暁美ほか4名 |
| 7.24【下沼田】ヒバリ(2)
農道より飛び立つ
鈴木静治 | 8.15【北新田】ハブサ(1) 飛翔
佐藤さなえ・松田幸保・畠中暁美ほか4名 |
| 7.24【千間橋】ヨシゴイ(1)
川岸の葦原より鳴き声
鈴木静治 | 8.15【北新田】チョウゲンボウ(1)飛翔
佐藤さなえ・松田幸保・畠中暁美ほか4名 |
| 7.25【下沼田】チョウゲンボウ(1)
電柱より水田上に飛び立つ
鈴木静治 | 8.17【高野山】ヤマガラ(1)
鳴きながら枝移り
平岡考 |
| 7.26【発作】アマサギ(2)
川岸の葦原で休む
鈴木静治 | 8.20【相島】チュウサギ(3)
稲刈り後の田で餌探し
鈴木静治 |
| 7.30【片山（手賀の丘公園）】ホトギス(1)
鳴き声
船津登 | 8.20【片山（手賀の丘公園）】センダングサ(2)
メジロの群の近くで動く
船津登 |
| 7.30【片山（手賀の丘公園）】サコウチョウ(1)
林の中で鳴き、その後飛ぶ
船津登 | 8.22【正蓮寺】ヒメアマツバメ(1)
巢の中で休んでいた
飯泉仁・飯泉久美子 |
| 7.30【片山（手賀の丘公園）】ウグイス(2)
さえずる
船津登 | 8.27【片山（手賀の丘公園）】ヤマガラ(6)
船津登 |
| 8.02【高野山】ヤマガラ(1)
水浴
平岡考 | 8.27【片山（手賀の丘公園）】ウグイス(1)
地鳴き
船津登 |
| 8.02【岡発戸新田】オヨシキリ(2)
葦原の中を動く
鈴木静治・間野吉幸・池田日出夫・千葉洋・古出洋子・古出夏紀・嶋崎省 | 8.27【片山（手賀の丘公園）】センダングサ(2)
桜の木で動く
船津登 |
| 8.05【片山新田】ノスリ(1)
上空を飛翔
飯泉仁 | 8.27【片山（手賀の丘公園）】キセキレイ(2)
桜の木で動く
船津登 |
| 8.10【手賀沼辺】トビ(1) 下沼 | 8.27【光ヶ丘廣池学園】サシバ(1)
上空を旋回
飯泉仁 |

- 8.27【若柴】ヒメアマツハメ(2)
巢の中にいる若鳥に成鳥が給餌
飯泉仁・飯泉久美子
- 8.28【大井新田】サバ(1)
幼鳥、旋回して飛び去る 吉田隆行
- 9.03【泉】ウグイス(1)
森の茂みで鳴く 鈴木静治
- 9.03【染井入新田】バン(1)
沼の葦原近くを泳ぐ 鈴木静治
- 9.03【染井入新田】ヒクケ(1)
沼の葦原で鳴く 鈴木静治
- 9.04【浅間前】チョウゲンボウ(1)
刈田上空でハリング 鈴木静治
- 9.04【布瀬新田】チュウサギ(28)
川岸の場で休む 鈴木静治
- 9.06【大井新田地先上沼】ショウトウツハメ(3+)
採餌飛翔 吉田隆行
- 9.06【大作新田】モズ(1)
大木に止まり鳴く 鈴木静治
- 9.06【岡発戸新田】セッカ(1)
稲田上を囀り飛ぶ
鈴木静治・間野吉幸・池田日出男・千葉洋・古出洋子・古出夏紀・嶋崎省
- 9.07【手賀沼辺】チュウサギ(37)上沼 1 下沼 36
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省
- 9.07【手賀沼辺】トビ(1)下沼
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省
- 9.10【片山(手賀の丘公園)】ヤマガラ(4)
船津登
- 9.10【片山(手賀の丘公園)】ウグイス(1)
地鳴き 船津登
- 9.10【片山(手賀の丘公園)】センダイムシクイ(1)
木で動く 船津登
- 9.12【柏の葉】材木(1)
上空を旋回 飯泉仁
- 9.12【正蓮寺】クサギ(2)
鳴きながら移動 飯泉仁
- 9.12【正蓮寺】バン(1)
池の葦原の中を移動 飯泉仁
- 9.14【下沼田】チョウゲンボウ(1)
農道の電柱上部に止まる 鈴木静治
- 9.14【発作】チュウサギ(約 40)
ナガエツルノゲイトウの浮島で休む
鈴木静治
- 9.16【大堀川】イシギ(1)
干潟を歩き回ってた 吉田隆行
- 9.16【北新田】チュウサギ(41)
田圃で採餌
佐藤さなえ・松田幸保・畠中暁美ほか 9 名
- 9.16【北新田】モズ(8)
モズの声は何度も聞かれた
佐藤さなえ・松田幸保・畠中暁美ほか 9 名
- 9.16【北新田】ヒバリ(2)
飛翔
佐藤さなえ・松田幸保・畠中暁美ほか 9 名
- 9.16【光ヶ丘廣池学園】サバ(1)
上空高く旋回 飯泉仁
- 9.16【発作】トビ(2)
上空を飛翔 飯泉仁・飯泉久美子
- 9.16【北新田】材木(2)
とても高く飛んでいた
佐藤さなえ・松田幸保・畠中暁美ほか 9 名
- 9.16【北新田】ノスリ(2)
田圃の杭に止まっていた
佐藤さなえ・松田幸保・畠中暁美ほか 9 名
- 9.17【片山(手賀の丘公園)】ヤマガラ(6)
船津登
- 9.17【片山(手賀の丘公園)】コサビ(1)
木々の中で動く 船津登
- 9.18【手賀の丘公園】ツツドリ(1)
桜の林の中を移動 吉田隆行
- 9.19【白山 2 丁目】イソトドリ(2)
♂がマンション最上階のベランダに、♀は 2 階下の隣の部屋の手摺にいた 間野吉幸
- 9.19【下沼田】チョウゲンボウ(1)
農道の電線に止まる 鈴木静治
- 9.19【大堀川河口】ハツカイツドリ(1)
採餌しながら泳ぐ 吉田隆行
- 9.20【江蔵地】モズ(1)
電線上で捕らえた蛾を食べる 鈴木静治
- 9.20【大井新田地先上沼】ミサコ(1)
沼中央の杭に止まる 吉田隆行
- 9.20【高野山新田地先(手賀沼)】バン(2)
水面移動、干潟を歩く 桑森亮
- 9.20【中峠】チュウサギ(3)
刈田で餌探し 鈴木静治
- 9.20【古戸】イシギ(1)
小川の浅瀬で餌探し 鈴木静治

■今回寄せられた鳥の全種名■

アオサギ、アジサシ、アマサギ、イソシギ、イソヒヨドリ、イワツバメ、ウグイス、エナガ、オオタカ、オオバン、オオヨシキリ、カイツブリ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、キジ、キジバト、キビタキ、クサシギ、ゴイサギ、コガモ、コゲラ、コサギ、コサメビタキ、コチドリ、コブハクチョウ、サシバ、サンコウチョウ、シジュウカラ、シヨウドウツバメ、スズメ、セグロセキレイ、セッカ、センダイムシクイ、ダイサギ、チュウサギ、チョウゲンボウ、ツツドリ、ツバメ、トビ、ノスリ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハジロカイツブリ、ハヤブサ、バン、ヒクイナ、ヒバリ、ヒメアマツバメ、ヒヨドリ、ホオジロ、ホトトギス、ミサゴ、ムクドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ヨシゴイ 計 60 種
<番外種>カワラバト、コジュケイ

■今回の投稿者の総投稿件数■

飯泉仁	84
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省	40
桑森亮	8
佐藤さなえ・松田幸保	
・嶋中暁美ほか 4 名	21
鈴木静治	240
平岡考	7
船津登	91
間野吉幸	1
吉田隆行	17
松田幸保・嶋中暁美ほか 9 名	25
飯泉仁・飯泉久美子	80
鈴木静治・間野吉幸・池田日出男	
・蒲田知子・千葉洋・古出洋子	
・嶋崎省	16
鈴木静治・間野吉幸・池田日出男	
・千葉洋・古出洋子・古出夏紀	
・嶋崎省	15
総計	645

【会員だより】 (ab-yacho より)

【ムシクイを見ました】

2018.8.19 中西榮子

皆さま こんにちは。

今日 (8/19)、散歩道 (柏市中原) で、シジュウカラを見かけましたが、その中にムシクイが入っていたようです。

証拠写真でお見苦しいですが、添付させていただきます。

【Re ムシクイを見ました】

2018.8.20 船津登

中西さん こんにちは。

私も、今日 (8/20) 手賀の丘公園で、センダイムシクイ 2 羽を見ました。

メジロの群の近くで動いており、白い眉斑、白い腹が見えました。

すぐ動いてしまうので、写真は撮れませんでした。

【Re, Re ムシクイを見ました】

2018.8.21 中西榮子

船津さん おはようございます。

手賀の丘公園の様子ありがとうございます。

東京方面からは、ツツドリやサンコウチョウのたよりが届いております。

渡りが、始まったようですね。

【オオグンカンドリ無事放鳥】

2018.8.23 中西榮子

皆様

銚子で観察されていたオオグンカンドリ、釣り糸が絡んで、力尽きたところを現地の方に救出・保護されバーダーの方によって行徳野鳥病院に緊急搬送されました。

見事な連携プレーにより、回復も早く、昨日の朝九十九里海岸で、放鳥されたとのことです。写真を撮るだけではなく、こういうことにも関心をもって頂ければと思います。

[Re オオグンカンドリ無事放鳥]

2018.8.23 神部充

皆さん、神部です。

オオグンカンドリの話、良い話ですね♪♪無事に飛んで、生き抜いてくれればと願います。それにしても、人工物の釣り糸で傷病鳥が発生するとは嘆かわしいことです。

私も銚子でのカモメ観察の際に、沢山の釣り糸に絡まったり、釣り糸で足が千切れたりしたかわいそうなカモメ達を観ていますが、どうしようもなく、もどかしい思いをした記憶があります。捕まえて、釣り糸を解いてあげたいのですが、どうしようもありません。あれらのカモメ達は、今頃、どこで、どうしているのやら、思いやられます。

【サシバ@松戸市内】

2018.9.2 平岡考

8/21（火）に、自宅から徒歩圏内の緑地ですが、思いがけずサシバが2羽いました。羽色がちゃんと見られた1羽は今年生まれの幼鳥でした（画像を添付します）。

松戸市内で繁殖したのだとすると、無邪気に紹介することで、繁殖地に（来年）カメラの方が集まってしまって、繁殖に悪影響が出るようなことになってはいけないと思ったのですが、地元の鳥情報が集まりそうな何人かの方にうかがっても、松戸市内で繁殖しているということはなさそうです。繁殖が終わってどこか別の場所から移動してきたという可能性が強そうなので紹介しました。

声も録音しました。「キンミー（ピックイー）」という声が3声入っています（2声めのうしろにヤマガラの声もしますね）

このサシバも、最初に遠くの鳴き声がおかしいと思ったことがきっかけで見られたもので、前々からご紹介している

「(1) 変わった鳴き声に気づく、(2) 分からない鳴き声が聞こえたらともかくねばって姿を見る、(3) 脅かさないように自分の動きに注意する」

この方法に沿ったものと言ってよいと思います。

暑い盛りで、緑地を回っても、ヒヨドリさえ静か、いるのはヤブ蚊ばかり、という状況でサシバが見られて得したな~と思った次第です。ご参考まで。

【アジサシ】

2018.9.22 千葉洋

みなさま今日は、北柏の千葉です。

19日（水）に散歩していたら、アジサシらしい鳥がいました。

北柏ふるさと公園と柏ふるさと公園に挟まれた池の中州です。

図鑑を見ると、白い額、黒い小雨覆からしてアジサシの幼鳥のようでした。

大きな餌を飲み込もうとして四苦八苦していました。

意識して野鳥を観察しながらふるさと公園を散歩するようになって5年経ちますが、この場所でアジサシを見たのは初めてです。

【Re アジサシ】

2018.9.23 百瀬喬

千葉さん 百瀬喬です。

同じ日の午後（13時20分から1時間ほど）僕も北柏ふるさと公園に隣接する大堀川の河口の砂州でアジサシの幼羽を観察しました。

砂州のあちこちを歩き回りながら採食をしていましたが、何と14時15分に大堀川の水面に舞い降りて泳ぎ始めました。

しばらくして10メートルほど流れの上を飛翔してからまた上流に向かって泳ぎ始めて、ふれあい大橋の下をくぐり上流に消えていきました。

目の後ろ側の黒斑が目よりやや下がっていたのでクロハラアジサシかと思いましたが、図鑑を見てアジサシの幼羽に似ていることに気づき鳥博の小田谷さんにメールで写真を届けたら、アジサシの幼羽と返事がありました。

アジサシが水面を泳ぎながら移動する姿はめったに見られないということです。

当日の写真を縮小して添付しました。

会からのお知らせ

<新入会員紹介>

- ・坂 穂実、聡子、拓真（我孫子市在住）
- ・吉田惇三、繁子、朋佳、瑞夏（我孫子市在住）

<鳥名訂正>

前号（264号）の14ページ、寄稿文の下から8行目の「エレノオラハヤブサ」は誤りで、正しくは、「エレオノラハヤブサ」です。鳥名を訂正しお詫び申し上げます。

ほーほーどり No. 265 (2018年11~12月号)

発行 2018年11月1日

発行人 間野吉幸

編集人 青木典子、古出洋子、小玉文夫、千葉洋、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台2-15-17 桑森亮 Tel: 04-7182-3149

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費2,000円（大学生・高校生1,000円、中学生以下500円、家族会員無料）